

IJ5363

<3M>溶剤系インクジェット用PETメディア

定義

IJ5363は、溶剤系インクジェットシステムにて使用される作画媒体です。溶剤系インクジェットシステムで作画し、<3M>オーバーラミネートフィルムと合わせて使用することにより最終グラフィックスを作成することができます。

特徴

- ガラスなどの透明で平滑な基材に貼り付けるように設計されています。
- IJ4121およびIJ4123オーバーラミネートフィルムと組み合わせて使用することにより、高光沢で高品質のグラフィックスを作成することが可能です。
- 再剥離性を考慮した粘着剤を使用しており、ガラス基材に対して、短期間の貼り付けであれば、特殊な薬剤(剥離剤等)や装置を必要とせず剥離可能であり、粘着剤が貼り付け基材に残留しにくくなっております(ただし、すべての条件において再剥離性を示すものではありません)。

注意

⚠ 施工に関する重要な注意点

オーバーラミネートフィルム IJ4121 との組み合わせで使用する際は、必ず内貼り施工してください。
屋外での使用(ガラス外貼り等)はできません。
 (オーバーラミネート表面の白濁や脱落が起こる可能性があります。)
 外貼りの場合は、IJ4123と組み合わせて使用してください。

⚠ 印刷に関する重要な注意点

高濃度印刷や「重ね塗り」を使用した場合、上記した濃度以下であっても印刷面が裏面に密着し、画像にダメージを与える可能性があります。**その際は巻き取り機のご使用をお控えください。**

対応インクジェットプリンタ

- 3M: SPZ-Aシリーズ
- 尚、Performance Guarantee対応プリンタについてはPGサンプル帳、ホームページなどをご確認ください。

耐候性、耐久性及び推奨メディア

IJ5363と<3M>イメージングメディアとの組み合わせにより作成されたグラフィックスは、日本国内の標準的な環境下で屋外垂直面のサインに施工した場合、以下に示すような耐候性を有します。

3Mオーバーラミネート例	予想耐候年数
IJ4121(内貼り)	約2年
IJ4123(外貼り)	約1年

- 耐候性の数値は、弊社試験の結果に基づき予測される年数であり、保証年数ではありません。
- インク自体に耐候性を有する場合があります。
- 施工方法や使用環境により、この値より短くなる場合があります。

製品特性

IJ5363 : ウィンドウ用透明メディア

サイズ	1270mm×30mm
コア	3インチコア (内径77mm)
材質	ポリエステル
フィルム色	透明
剥離フィルム	シリコン処理ポリエステル
厚さ	0.10mm(粘着剤含む)
重量	代表値 131g/m ² (剥離紙含まない)
粘着剤	感圧型再剥離タイプ
粘着剤色	透明
接着力	5N/25mm以上(ガラス)
貼付温度	10~38°C
光学特性	別途表を参照

試験方法

フィルム厚 : JIS K 7130(プラスチック・フィルム及びシート・厚さ測定方法)に準ずる。

光学特性 : JIS A 5759 に準ずる。

特性における数値は、原則として温度 20°C・湿度65%での試験結果を基にしています。

別表 IJ5363/IJ4121 積層体 (フィルムのみ) の光学特性

印刷画像の種類	入射方向	紫外線	日射			可視光線		
		透過率(%)	反射率(%)	透過率(%)	吸収率(%)	反射率(%)	透過率(%)	吸収率(%)
画像なし	粘着剤面	1以下	8	88	4	9	90	1
K100% 1度打ち	粘着剤面	1以下	7	19	74	13	6	81
K100% 2度打ち	粘着剤面	1以下	6	7	87	6	4	90
CMY各67%+K100% 1度打ち	粘着剤面	1以下	6	17	77	6	6	88
CMY各67%+K100% 2度打ち	粘着剤面	1以下	6	6	88	6	1	93

ご使用に際しての注意事項

■ 印刷

- 作画品質を維持するために、ご使用プリンタの取扱説明書及び技術説明書に従って出力を行ってください。
- 環境(ほこりや潤滑スプレーの使用等)、インク条件により、スポット状の印刷抜けが発生することがあります。特に、ベタ印刷の場合、発生が目立ちます。印刷環境管理、インクの鮮度管理に充分ご配慮下さい。
- 印刷前のメディア表面には指紋、汚れ、傷がつかないようにして下さい。取り扱い時には綿製の手袋等をご使用になる事をお勧めいたします。また、表面を液体等などで洗浄しないで下さい。印刷性に大きな影響が出ます。
- 予め実際に印刷を行い、発色及び乾燥性を確認の上御使用下さい。インク濃度が高く印刷後乾燥が充分でない状態で巻いた場合、印刷面が裏面に密着し、画像にダメージを与えることがあります。可能であれば 250%を濃度の上限としてデータを準備下さい。

■ 加工

- 印刷後は十分な乾燥を行ってください乾燥はメディアを広げた状態で1日程度室温下で放置してください。長尺品の場合は、印刷面が剥離紙面に接触しないようにゆる巻きにし、風通しの良いところで乾燥を行ってください。
- 乾燥時は、溶剤蒸気に引火しないよう、発火源(モータ等電化製品含む)から離してください。さらに、溶剤蒸気が充満すると健康被害を起こす可能性が有りますので、換気を行ってください。
- オーバーラミネートフィルムを貼った場合、色相等が多少変化します。予め発色をご確認の上、印刷色を設定して下さい。
- 故意に強く印刷面を擦った場合、インクが剥がれることがありますのでご注意ください。

■ 施工

- **本製品はガラス基材へ水貼りを推奨しております。以下①～⑧に水貼りの施工方法を示してあります。**

① 貼り付け直前の汚れ除去

ガラスに水あるいは中性洗剤溶液を噴霧し、スキージで上から下へ洗い流し洗浄します。再度ガラスに水あるいは中性洗剤溶液を噴霧します。

② 剥離紙の剥離と水の噴霧

フィルムから剥離紙を剥がしながら、その粘着剤面に水あるいは中性洗剤溶液を噴霧し、剥離紙を全て剥がします。ガラスへフィルムを仮合わせし、フィルム表面に中性洗剤溶液を噴霧します。

③ 仮圧着

エッジとのスペース(フィルムの四辺とコーキングとの隙間)を確認しながら、フィルムの貼り付け位置を決め、スキージでフィルム上辺部分を仮圧着しフィルム全体を固定します。エッジスペースとはフィルムとコーキングとの適正な隙間のことで、原則として2~3mm程度の幅を設けて下さい。

④ 全体圧着(一次圧着)

中央から徐々にサイドへとスキージを動かし大まかに水を押し出します。

⑤ 余分なフィルムのエッジカット

適当な厚みのスペーサー(三角定規やプラスチック板)を窓枠に当てて、さらにカッターをスペーサーに当てがい、スペーサーとカッターを同時に滑らせる様にしてカットします。(但し、強化ガラスや金属被膜面へ施工した場合は除きます)

⑥ 全体圧着(二次圧着)

フィルム表面に再度中性洗剤溶液を噴霧します。四辺のエッジスペースが均一であることを確認しながら、スキージでフィルムを二次圧着します。

⑦ 清掃

最後に、フィルム表面に水あるいは中性洗剤溶液を噴霧し、スキージで軽く清掃します。市販のガラスクリーニング用の幅広いスキージを使用すると便利です。

⑧ 水分の除去

サッシ周りの水分をペーパータオル等で拭き取ります。

施工時の注意事項

- 貼り付け基材面温度が 10℃以下の場合、十分な初期接着力が得られません。貼り付け下地が貼り付け温度範囲内であることを確認し施工して下さい。
- 結露し易い箇所、十分な接着力が得られないことがあります。

■ グラフィックスのメンテナンス

- グラフィック表面を洗浄する場合、研磨剤を含まない中性の洗浄液で水洗いして下さい。
- 推奨オーバーラミネートフィルムにて表面が保護されたグラフィックスはIPA(イソプロピルアルコール)による表面清掃が可能です。但し、グラフィックス端部に IPA が残留しないように十分にふき取って下さい。
- 土砂等の汚れがついたまま、表面を拭くとオーバーラミネートフィルムに傷が付くことがあります。洗浄は最初表面に付着した粒子分を水洗等で取り去り、その後、表面を軽く拭き取る程度にして下さい。
- 一度掲示したものを剥がし、再度掲示する事はおすすめていたしません。

■ 剥離

- 本製品は再剥離性能を有しております。しかし、全ての下地に対し、有するものではありません。製品の使用期間・状況、使用インク・オーバーラミネートフィルム、剥離方法や剥離時の環境によって、剥離状況は変化します。再剥離性能とは粘着剤が下地に残りにくいように設計した性能です。
- 剥離性能を重視するアプリケーションの場合は、使用期間を想定した試験施工を一定期間*1 実施し、粘着剤の残留有無を確認し判断して下さい。
- 剥離の際には可能な範囲でゆっくりと剥がしてください。すばやく剥がすと粘着剤が基材に残る場合があります。
- 残留した粘着剤はその量に応じて、IPA（イソプロピルアルコール）もしくは剥離剤(弊社製 R231 等)をご使用ください。

■ 保管／運搬

- 鋭角に折り畳んだ場合、画像にダメージが発生することがあります。また、フィルム面を内側にして巻いた場合、ポップオフ(剥離紙からの浮き)が発生しやすいため、移送の場合には、直径 15cm程度のコアに画像を外側にして緩やかに巻いて下さい。
- 保存期間は 1 年間ですが、購入から半年以内のご使用をおすすめいたします。
- 以下の条件で保管して下さい。
 - 開梱しない状態、または初期の包装状態。
 - 乾燥した屋内で直射日光の当たらないところ。
 - 直射日光のあたらない、温度 30℃ 以下、湿度 30～70%、の屋内で、結露を避けて下さい。ロールを積み重ねたり、部分的な圧力がかかったり、重量物を載せることは避けて下さい。
 - 使用後は速やかにプリンタから取り外し、元の袋に入れ、湿気が入らないようにして保管して下さい。

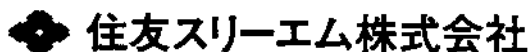
免責事項

- ここで用いている数値は平均的なものであり、保証値ではありませんので規格等の作成には使用できません。
- 予告なく改良の為製品仕様を変更する場合があります。
- 廃材は産業廃棄物として処理して下さい。
- 本製品が明らかに不良であると証明された場合は良品と交換にて対応致します。それ以外の責に対してはご容赦願います。
- この説明書の内容については十分信頼できるものと確信しております。しかしながら、この情報によってもたらされる利益・損害等に対し、いかなる保証も規定するものではありません。
- この説明書もしくは本件フィルムの使用・使用不能もしくは誤使用によって生じるあらゆる損失・損害に対し、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

この説明書の著作権は弊社に属します、よって、無断複製、引用等を禁じます。

その他不明な点につきましては、弊社担当販売員にお問い合わせ下さい。

<3M>は 3M 社の商標です。



住友スリーエム株式会社

コマースシャルグラフィックス事業部

〒158-8583 東京都世田谷区玉川台 2-33-1

<http://www.mmm.co.jp/cg/>

人がいる。夢がある。 **3M**